



落ち着き先が決まり、ホッと一息つく福島からの避難者と加藤さん(左端)

避難所開設前の避難者を

NPOの施設に緊急受け入れ

NPO法人
よしかわたすけあい

福島第二原子力発電所より半径20キロメートル以内にある楢葉町などからの避難家族ら世帯25名を、NPO法人よしかわたすけあいが、緊急受け入れしました。受け入れ施設は、柿崎にある同法人の高齢者のデイサービスを行っている「地域の茶の間 楽・楽」。

理事長の加藤正子さんは、「中越沖地震で被災した時に、多くの人に助けられました。この地で何かできることがあればと考えていた矢先にこの話があり、喜んでお引き受けしました」。

上越には初めて来たという一人、中学三年生の高野大地さんは、「ずっと住んでいた家を離れたくないと思っていましたが、ここにきてとりあそび安心しました。友達みんなバタバタになってしまっただけで、ここにいるみんなががんばると思います」と話してくれました。